


地理歴史・公民(世界史B, 日本史B,  
地理B, 政治・経済)問題

はじめに、これを読みなさい。

1. これは、世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済の4科目の問題を綴じた冊子である。必要な科目を選択して解答しなさい。
2. 問題は全部で96ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
3. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
4. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
5. 監督者の指示にしたがい、解答用紙にある「解答科目マーク欄」に1つマークし、「解答科目名」記入欄に解答する科目名を記入しなさい。なお、マークしていない場合、または複数の科目にマークした場合は0点となる。
6. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答番号は各科目の最初に示してある。
7. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
8. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
9. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
10. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
11. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。
12. この問題冊子は必ず持ち帰ること。
13. マーク記入例

良い例	悪い例
	

## 世界史 B

(解答番号 1～42, 101～108)

〔 I 〕 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

古代ギリシアでは、紀元前 8 世紀にポリスが成立した。ポリスの住民は市民と奴隷からなり、市民には貴族と平民の区別があった。紀元前 7 世紀に貨幣が用いられるようになると、商工業が発達して富裕な平民が現れ、彼らが自費で武装を整える  (1) が軍隊の主力となった。軍隊の主力になった平民は、貴族による政権の独占に不満を持って地位の向上を求めるようになった。やがて多くのポリスでは、貴族を抑圧して独裁政治を行う僭主が現れた。ポリスの一つであるアテネでは、僭主政治の崩壊後に貴族の力を弱める改革が行われ、民主政の基礎が固まった。

紀元前 500 年に始まったペルシア戦争では、ギリシア側がアケメネス朝ペルシアを撃退した。その後、エーゲ海周辺の多くのポリスは、ペルシア再攻に備えてアテネを盟主としてデロス同盟を結成した。アテネ国内では、軍艦の漕ぎ手として参戦する無産市民の発言力が高まり、紀元前 5 世紀半ば頃、將軍  (2) の指導の下で直接民主政が実現した。ペロポネソス同盟の盟主のスパルタは、アテネの勢力拡大に反発し、両者は紀元前 431 年にペロポネソス戦争に突入した。アテネはスパルタに敗れたが後に勢力を回復し、有力ポリス間の覇権争いが続いた。

紀元前 4 世紀後半には、 (3) の下で軍事力を強めた北方のマケドニアが、ギリシアの諸ポリスをコリントス同盟に集め服属させた。紀元前 334 年に東方遠征に出発したアレクサンドロス大王は、エジプトを征服後にペルシアを滅ぼし、更に軍を進めてインド北西部まで到り、東西にまたがる大帝国を築いた。この時代には、ギリシア風の都市が多数オリエントやその周辺に建設され、ギリシア文化が広まった。

問 1 下線部(ア)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(1)の記号にマークしなさい。

- A ポリスは城壁のない市域と周辺の田園から成り立っていた。
- B ポリスの中心にあるアゴラは、神殿が建てられる神聖な場だった。
- C アクロポリスでは市場や集会が開かれ、市民が談話や議論を楽しんだ。
- D ポリス市民団の中核は、田園の持ち分地で農業を営む農業市民たちだった。

問 2 空欄(1)にあてはまる最も適した語句を解答番号(101)に記入しなさい。

問 3 下線部(イ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(2)の記号にマークしなさい。

- A 紀元前 7 世紀末にソロンが慣習法を成文法にして公開した。
- B 紀元前 6 世紀初頭にドラコンが身体を抵当とする借財を禁止した。
- C 紀元前 6 世紀半ばに僭主となったテミстокレスが中小農民を保護した。
- D 紀元前 6 世紀末にクレイステネスが 4 部族制を 10 部族制に改めた。

問 4 下線部(ウ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(3)の記号にマークしなさい。

- A イオニア地方のギリシア人植民市による反乱が戦争のきっかけとなった。
- B 紀元前 490 年の Marathon の戦いでアテネがペルシア軍を打ち破った。
- C 紀元前 480 年のサラミスの海戦でペルシア軍がギリシア連合軍を大敗させた。
- D 紀元前 479 年のプラタイアの戦いでギリシア側の勝利は決定的となった。

問 5 空欄(2)にあてはまる最も適した人物名を下から一つ選び、解答番号(4)の記号にマークしなさい。

- A ヘシオドス    B ペリクレス    C キュロン    D ピンダロス

問 6 下線部(エ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(5)の記号にマークしなさい。

- A 成年男女市民の全体集会である民会が多数決で国家の政策を決定した。  
B 将軍などを含めて、一般市民から抽選された任期1年の役人が行政を担当した。  
C 裁判では、抽選で選ばれた陪審員の意見を聞いて裁判官が判決を下した。  
D 役人や政治家の責任は弾劾裁判などで厳しく追及された。

問 7 下線部(オ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(6)の記号にマークしなさい。

- A 農業に従事するドーリア系の被征服民はヘイロータイと呼ばれた。  
B 商工業に従事する隷属民はペリオイコイと呼ばれた。  
C 他国との自由な行き来を禁止する鎖国政策を採った。  
D スパルタ市民団は厳しい軍国主義的規律に従って生活した。

問 8 空欄(3)にあてはまる最も適した人物名を解答番号(102)に記入しなさい。

問 9 下線部(カ)に関連し、その分裂後から紀元前3世紀初めまでの間に成立した王国に含まれないものを下から一つ選び、解答番号(7)の記号にマークしなさい。

- A プレトマイオス朝エジプト  
B セレウコス朝シリア  
C ササン朝ペルシア  
D アンティゴノス朝マケドニア



問10 下線部(キ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(8)の記号にマークしなさい。

- A アリスタルコスが地球の自転と公転を指摘した。
- B アルキメデスが地球の周囲の長さを計測した。
- C コイネーと呼ばれるギリシア語が共通語となった。
- D エジプトのアレクサンドリアにムセイオンが作られた。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

ユーラシア大陸はヨーロッパとアジアにまたがり、面積が世界最大の東西に長い大陸である。そこでは、ヨーロッパ、西アジア、内陸アジア、南アジア、東アジア、東南アジアなど、独自の地域世界が形成され、発展してきた。

これらの地域世界は固有の展開を示したばかりでなく、さまざまなネットワークを通じた交流によって、外の地域世界からも大きな影響を受けた。例えば、西方に伝播した東アジアの文物は少なくない。さらに、文字が伝播して作り直されたり、宗教も伝播することによって新しい展開をみせたりもした。このような交流の担い手となったのは主に商人であるが、旅行者・使者・宗教家などもその一翼を担った。

ユーラシア大陸におけるイスラーム世界やモンゴル帝国の成立は、内部に多様な文化を含みつつ、広範囲にわたる地域の一体化を促した。その影響はいずれの世界からも遠く離れた東南アジアにも及んだ。

しかし、ユーラシア大陸を舞台とした東西交流は、大航海時代の到来とともに新しい局面を迎える。ヨーロッパ世界の拡大が世界の一体化をもたらし、ユーラシアはその一部となったからである。

問 1 下線部(ア)に関連したものとして海の道があるが、これは別名で何の道というか。最も適した語句を、解答番号(103)に記入しなさい。

問 2 下線部(イ)に関連し、中国起源のルネサンスの「三大発明」とされる組み合わせとして最も適したものを下から一つ選び、解答番号(9)の記号にマークしなさい。

- A 製紙法・養蚕技術・羅針盤
- B 活版印刷術・火薬・羅針盤
- C 火薬・製紙法・養蚕技術
- D 活版印刷術・製紙法・羅針盤

問 3 下線部(ウ)に関連し、文字の伝播の説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(10)の記号にマークしなさい。

- A 漢字をもとに、高麗においてはハングルが、日本においてはカナ文字が  
つくられた。
- B フェニキア文字からは、ギリシア文字、ラテン文字、ロシア文字が生ま  
れた。
- C アラム文字からは、ソグド文字、モンゴル文字、満州文字が生まれた。
- D インド系の文字をもとに、ソンツェン＝ガンポがチベット文字を制定し  
た。

問 4 下線部(エ)に関連し、仏教の伝播の説明として誤りのあるものを下から一つ  
選び、解答番号(11)の記号にマークしなさい。

- A 紀元前後に大乘仏教がおこり、主に北方に伝わった。
- B チベット仏教はラマ教とも言われ、元でも大いに栄えた。
- C 唐の玄奘はインドに赴き、帰国後に『南海寄帰内法伝』を著した。
- D 高麗は仏教を国教とし、高麗版大蔵経を刊行した。

問 5 下線部(オ)に関連し、東西交流に携わった商人の説明として最も適したもの  
を下から一つ選び、解答番号(12)の記号にマークしなさい。

- A ソグド商人はイラン系で、草原の道を中心に活躍した。
- B 新安商人は会館や公所をつくり、オアシスの道を中心に活躍した。
- C 唐代の広州には市舶司が設置され、ムスリム商人も来航した。
- D カーリー商人はバグダッドを中心に、南アジアと西アジアを陸路で結  
んだ。

問 6 下線部(カ)に関連し、東西交流に登場する人物の説明として最も適したものを下から一つ選び、解答番号(13)の記号にマークしなさい。

- A 大秦王安敦はローマ皇帝の使者としてベトナムに至り、後漢に入貢した。
- B マルコ=ポーロはイタリアと大都を陸路で往復し、帰国後に『世界の記述』を口述した。
- C モンテ=コルヴィノは大都の大司教に任ぜられ、景教を布教した。
- D イブン=バットゥータはモロッコ出身で、インド・スマトラ・中国にまで旅した。

問 7 下線部(キ)に関連し、イスラーム文明の説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(14)の記号にマークしなさい。

- A 『コーラン』がアラビア語で書かれていたために、アラビア語はイスラーム文明の共通語となった。
- B 『千夜一夜物語』は、インド・イラン・アラビア・ギリシアなどの説話を融合して成立した。
- C ゼロの概念・アラビア数字・十進法の採用によって、数学が大いに進歩した。
- D イブン=ルシュドは主にプラトンの注釈によって、スコラ哲学に影響を与えた。



問 8 下線部(ケ)に関連し、モンゴル帝国の説明として最も適したものを下から一つ選び、解答番号(15)の記号にマークしなさい。

- A ヨーロッパに遠征したバトゥはその帰途に、南ロシアにオゴタイ=ハン国を建国した。
- B イラン人のラシード=アッディーンはモンゴル語でモンゴル帝国の歴史書『集史』を著した。
- C ミャンマー最初の統一王朝であるパガン朝は元の侵入により滅んだ。
- D ムガル帝国のムガルとはモンゴルの意味で、インドで最初のイスラーム国家である。

問 9 下線部(ケ)に関連し、東南アジアの説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(16)の記号にマークしなさい。

- A ボロブドゥールは上座部仏教の石造遺跡で、仏像群にはグプタ様式の影響がみられる。
- B アンコール=ワットはヒンドゥー寺院として造営され、『マハーバーラタ』の場面を表した彫刻をもつ。
- C マラッカ王国は東南アジア最初の本格的なイスラーム国家となった。
- D シュリーヴィジャヤはスマトラ島にある王国で、港市国家として有名である。

問10 下線部(コ)に関連し、ヨーロッパ諸国の東南アジア進出の説明として最も適したものの中から一つを選び、解答番号(17)の記号にマークしなさい。

- A スペインはカルロス1世時代にフィリピンを領有し、マニラを拠点に日本と通商関係をもった。
- B オランダはアンボイナ事件を転機にポルトガルの勢力を排除し、インドネシアを支配下においた。
- C イギリスはタイのバンコクを拠点に、マレー半島からミャンマーにわたる地域を支配下においた。
- D ベトナムの阮朝はフランス人宣教師ピニョーらの支援を得て建てられたが、のちにフランスの保護国となった。

世界史B 問題は次ページに続いています。

〔Ⅲ〕 次の文章(1～3)を読み、下記の設問に答えなさい。

1 アルプス以北のヨーロッパでは、11世紀後半から13世紀前半にかけて森林を切り開いて耕地をひろげる、いわゆる (1) を迎える。「森のヨーロッパ」から「畑のヨーロッパ」への移行の時代である。この時期、農業面では三圃制の普及など農業技術が進歩し、農業生産が増大した。<sup>(ア)</sup>

その後18、19世紀に入って、ヨーロッパの農業は新たな発展をとげる。新しい農法や農業機械の導入、肥料の改善などにより、農業生産力はめざましく発展した。イギリスの農村ではまた、それと並行して第2次囲い込み<sup>(イ)</sup>が進められた。イギリスでとくに顕著にみられたこうした変化は、農業革命<sup>(ウ)</sup>ともよばれた。

問1 空欄(1)にあてはまる最も適した語句を解答番号(104)に記入しなさい。

問2 下線部(ア)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(18)の記号にマークしなさい。

- A 数頭の牛や馬に重量有輪犁を引かせる農耕法が普及した。
- B 三圃制では耕地は、大麦・えん麦をまく秋耕地、小麦・ライ麦をまく春耕地、休耕地に三区分された。
- C 農業技術の進歩により、それまで播種量の3倍程度であった麦の収穫量は6倍前後にまで向上した。
- D 刈入れのすんだ畑は村の家畜のために放牧地として利用された。

問 3 下線部(イ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(19)の記号にマークしなさい。

- A 第1次囲い込みは、牧羊のための共用地の囲い込みで、政府が奨励する合法的運動として展開された。
- B トマス=モアは、第1次囲い込みを「羊が人間を食う」と表現した。
- C 第2次囲い込みでは、大地主が中小農民の土地や村の共用地を囲い込んだ。
- D 第2次囲い込みによって土地や仕事を失った農民は農業労働者となるか、都市に移住せざるをえなかった。

問 4 下線部(ウ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(20)の記号にマークしなさい。

- A 18世紀のイギリスでは三圃制をやめ、市場向けの大規模な穀物生産が发展した。
- B 1750年には1500万クォーター前後だったイギリスの穀物純生産量は、1820年には2500万クォーターにまで増加した。
- C 農業資本家が地主から土地を借り、資本主義的借地農業経営を发展させた。
- D イングランド東部のノーフォークで始まった「大麦→クローヴァー→小麦」の3年周期の新しい輪作農法はノーフォーク農法とよばれた。

2 18世紀後半のイギリスでは、世界に先駆けて生産活動の機械化と動力化が進行した。それはまず綿工業の分野ではじまった。綿工業などでの機械化の進展は、機械を製造する機械工業、その素材を供給する製鉄業、そのエネルギーを供給する石炭業などを発展させた。それにもなつて、原料や製品を輸送するために道路や鉄道建設が進み、とくに蒸気機関車や蒸気船など交通機関の発明・改良は、産業・貿易・文化面での世界各地の結びつきを飛躍的に強めた。

こうして世界で最初に産業革命を達成したイギリスは、「世界の工場」として世界各地に工業製品を輸出する一方、世界の様々な地域から安い食糧や原料を



輸入するようになり、(2)ともよばれるイギリス中心の国際秩序が形成された。

イギリス産業革命の影響をうけて、他の欧米諸国でも産業革命が進められた。<sup>(オ)</sup>

問 5 下線部(エ)に関連し、下記の①～④の発明を古い方から正しい順番で並べたものを下から一つ選び、解答番号(21)の記号にマークしなさい。

- ① クロンプトンがミュール紡績機を発明
- ② ハーグリーブズがジェニー紡績機を発明
- ③ カートライトが力織機を発明
- ④ アークライトが水力紡績機を発明

- A ① → ② → ③ → ④
- B ④ → ② → ① → ③
- C ② → ④ → ① → ③
- D ① → ③ → ② → ④

問 6 空欄(2)にあてはまる最も適した語句を解答番号(105)に記入しなさい。

問 7 下線部(オ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(22)の記号にマークしなさい。

- A フランスでの産業革命の進行は緩慢で、製鉄業の発展した第一帝政期によようやく本格化した。
- B ドイツでは、関税同盟による統一市場の形成が進んだ 1830 年代から鉄道建設と軍備増強をテコにした重工業中心の産業革命が進められた。
- C アメリカ合衆国では 1810 年代の米英戦争のころから機械化がはじまり、南北戦争期に北部で本格化した。
- D ロシアでは 19 世紀末から国策による産業革命が推進された。

3 産業革命の進展にともなう経済の発展の一方で、様々な社会問題や労働問題が発生した。社会の底辺におかれた人たちの労働条件や待遇、生活条件は極めて劣悪で、とくに女性、児童の問題は深刻であった。

こうした問題に対し、その改善を求める運動もまた様々な形で進められた。そうした運動の展開などもあり、イギリスでは工場法<sup>(カ)</sup>の制定などを通じて、労働者の待遇や権利なども徐々に改善されていった。それらとあわせて、イギリスでの普通選挙権<sup>(キ)</sup>などの国民の政治的諸権利もまた、かなり長い期間をかけてではあったが少しずつ拡大されていった。

これに対し、女性参政権<sup>(ク)</sup>などの女性の権利の確立は、いずれの国においても総じてかなり遅れることになった。

問 8 下線部(カ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(23)の記号にマークしなさい。

- A マルクスらの働きかけで成立した 1819 年の工場法は実効性をもたなかった。
- B 1833 年の工場法は救貧院での強制労働を禁止した。
- C 1833 年の工場法は年少者の労働時間を制限した。
- D 1844 年の工場法は女性の 12 時間労働制を規定した。

問 9 下線部(キ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(24)の記号にマークしなさい。

- A 1832 年の第 1 回選挙法改正で産業革命で豊かになった中流階級が政治的発言力を強めた。
- B 1867 年の第 2 回選挙法改正で都市の労働者の多数が選挙権を獲得した。
- C 1884 年の第 3 回選挙法改正で農業労働者などが選挙権を獲得し、有権者が大幅に増加した。
- D 1918 年の第 4 回選挙法改正では 30 歳以上のすべての男性が選挙権を獲得した。

問10 下線部(ク)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(25)の記号にマークしなさい。

- A 「革命の国」フランスで女性参政権が成立したのは1906年である。
- B アメリカでは女性参政権が1920年に成立した。
- C イギリスでは1928年の選挙法改正で21歳以上の女性に選挙権が認められた。
- D 日本で女性参政権が成立したのは第2次世界大戦後の1945年である。

世界史B 問題は次ページに続いています。

〔IV〕 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

中国では、14世紀半ばになると放漫財政や内紛で元の統治が揺らぎ、白蓮教徒による  をきっかけに群雄が蜂起し、大都を奪われた元はモンゴル高原に退いた。反乱の中で頭角を現した朱元璋は、1368年に南京で洪武帝として即位し、明朝をたてた。洪武帝は、皇帝のもとに権力を集中すると共に、農村の末端にまで統制を及ぼして秩序の再建と民衆の生活安定を図った。外政面では、海禁政策を採って民間人の海上交易を許さず、政府の管理する朝貢貿易を推進した。洪武帝の死後に位を継いだ建文帝が諸王勢力の削減を図ると、これに反発した北平の燕王が挙兵し、南京を占領して1402年に永楽帝として帝位についた。

明の時代には、農業生産が一段と向上すると共に、各種の産業も発展した。明の後期には、木版印刷による書物の出版が急増し、小説が多く読者を獲得した。明末には、科学技術への関心が高まり科学技術書が作られた。当時の科学技術の発展には、16世紀半ば以降東アジアに來航したキリスト教宣教師の活動も重要な役割を果たした。

明の支配を受けていた中国の東北地方では、ヌルハチが女真諸部族を従えて1616年に後金を建国し、独自の国家建設を進めて明に対抗した。第2代の太宗  は1636年に国号を清と改めた。16世紀後半から17世紀の前半には、朝鮮半島や東北地方にも戦争が広がり、明は軍事費の増加のために財政難に陥った。その後、重税と飢饉のために各地で反乱が起こり、明は1644年に滅亡した。

問 1 空欄(1)にあてはまる最も適した語句を解答番号(106)に記入しなさい。



問 2 下線部(ア)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(26)の記号にマークしなさい。

- A 中書省を廃止し、行政の執行機関である六部を皇帝に直属させた。
- B 全国的な人口調査を基礎に里甲制を実施した。
- C 陽明学を官学として科挙制を整備し、明律・明令を制定した。
- D 一般の民戸と別に軍戸の戸籍を設けて衛所制を編制した。

問 3 下線部(イ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(27)の記号にマークしなさい。

- A 琉球は、朝貢貿易で得た物資を用いて東シナ海と南シナ海を結ぶ交易の要となった。
- B ベトナムの阮朝は、明と朝貢関係を結んだ。
- C 明の朝貢国である朝鮮は、科挙の整備など明の制度を取り入れた改革を行った。
- D モンゴル諸部族は、朝貢制度による制限を不満としてしばしば中国に侵入した。

問 4 下線部(ウ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(28)の記号にマークしなさい。

- A 都を南京から北京に移した。
- B 内閣大学士を重用して皇帝の政務を補佐させた。
- C 自ら軍を率いてモンゴル高原に遠征した。
- D 鄭成功に遠征を行わせ、南海諸国の明朝に対する朝貢を勧誘した。



問10 下線部(ク)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(33)の記号にマークしなさい。

- A 康熙帝は、ロシアとキャフタ条約を結んで国境を定めた。
- B 康熙帝は、台湾を領土とすると共に、三藩の乱を鎮圧した。
- C 雍正帝は、皇帝直属の諮問機関である軍機処を設置した。
- D 乾隆帝は、ジュンガルを滅ぼして東トルキスタン全域を占領した。

〔V〕 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

1492年のコロンブスによるいわゆる新大陸発見後、探検が進められていた地域が最終的に新大陸であることが明確になると、スペイン王室は、本格的に中南米・カリブ海地域の征服に乗り出した。新大陸にはアステカ王国やインカ帝国など高度な文明が存在していたが、征服者たちによって全て滅ぼされた。

軍事的征服によって、新大陸の膨大な富、特に銀が鉱山から大量に採掘され、国際貿易に影響を与えた。一方、銀を採掘するために多くの原住民が強制労働に狩り出され、鉱山で酷使されたために原住民の人口が激減した。不足した労働力は、ヨーロッパとアフリカとカリブ海を結ぶ多角的な貿易システム、いわゆる三角貿易の中でアフリカから輸入された黒人奴隷によって補充された。

その後、中南米・カリブ海地域は、長年にわたって主にスペイン・ポルトガルの植民地支配下におかれたが、18世紀末頃からアメリカの独立やフランス革命の影響を受けて独立運動が活発となる。(1)は、1811年のベネズエラの独立や1819年の大コロンビア共和国樹立に関わるなど、中南米諸国の独立に貢献した。メキシコでは独立後も、1917年のメキシコ革命の終結まで政治的変動が続いた。

しかしながら、中南米諸国はスペインに代わりアメリカから様々な干渉を受けるようになる。アメリカは、1898年のアメリカ＝スペイン戦争の勝利を契機に、国外に勢力・影響力を拡大し、セオドア＝ローズベルトが大統領に就任すると、他国への干渉を本格化させた。

アメリカの影響から脱しようとする中南米の運動は、第二次世界大戦後に活発化する。1948年の米州機構の結成など、アメリカの影響力が依然として強大であったが、アメリカの干渉に反発する民族主義運動があらわれ、それがキューバ革命に引きつがれた。これに対してアメリカは強硬政策を取り、その結果キューバ危機が発生した。

問 1 下線部(ア)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(34)の記号にマークしなさい。

- A 地球球体説を信じ、西航してアジアへの到達を企てた。
- B イサベル女王の支援を受けて現在のバハマ諸島に到着した。
- C 銀鉱山の経営に成功して、スペインの植民地経営に貢献した。
- D 合計4回の航海を行い、新大陸を探検した。

問 2 下線部(イ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(35)の記号にマークしなさい。

- A アステカ王国では、マチュ=ピチュを中心にして、神官階級による神裁政治が行なわれた。
- B アステカ王国では、象形文字と太陰暦が使われていた。
- C インカ帝国は、15世紀後半には現在のエクアドルからチリに至る広大な領域を支配下に置いた。
- D インカ帝国では、石造技術や製鉄技術、キープ(結縄)などを用いた高度な文明が栄えた。

問 3 下線部(ウ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(36)の記号にマークしなさい。

- A 新大陸における代表的な銀鉱山が1545年に発見されたポトシ銀山である。
- B スペインは、新大陸の銀をヨーロッパに運ぶ途中でイギリスなどの私拿捕船の攻撃を受け、甚大な損害を被った。
- C スペインは、マニラにおいて銀を使って中国の絹や陶磁器を購入した。
- D ヨーロッパに大量の銀が流入したために物価が暴落し、ヨーロッパ経済は甚大な影響を受けた。



問 4 下線部(エ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(37)の記号にマークしなさい。

- A 黒人奴隷は、主にヨーロッパから輸出された毛織物や麻織物と交換された。
- B 黒人奴隷は、アフリカから新大陸に運ばれ、プランテーションや鉱山で働かされた。
- C 新大陸では、黒人奴隷と砂糖や綿花などが交換され、砂糖や綿花は最終的にはヨーロッパに運ばれて売却された。
- D 大西洋をわたった黒人奴隷の総数は1000万人以上にものぼると推定されている。

問 5 下線部(オ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(38)の記号にマークしなさい。

- A フランスの植民地のサン＝ドマングで黒人奴隷の独立運動がおこり、1804年にハイチとして独立が達成された。
- B アルゼンチンでは、サン＝マルティンらの指導により1816年に独立が宣言され、1824年にスペイン国王派の軍に大勝して独立が確定した。
- C ブラジルでは、クリオーリョで構成される現地支配層が1822年に共和国独立を宣言した。
- D メキシコでは、聖職者イダルゴを指導者とした蜂起が失敗したが、1821年に独立を達成した。

問 6 空欄(1)にあてはまる最も適した語句を解答番号(108)に記入しなさい。

問 7 下線部(カ)に関連し、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(39)の記号にマークしなさい。

- A メキシコは、1860年代にアメリカの支援を受けてフランスのナポレオン3世の出兵を退けた。
- B 1876年にクーデターを成功させ大統領に就任したディアスは、地主階級の特権復活に消極的であったことなどから、軍部によって追放された。
- C 1911年のメキシコ革命で大統領に就任したマデロは、土地改革に積極的に取り組んだが、外国企業への対応をめぐって内部対立が発生し、1913年に失脚した。
- D 1915年に内戦に勝利し、大統領に就任したサパタは、民主憲法を制定した。

問 8 下線部(キ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(40)の記号にマークしなさい。

- A アメリカは、自国の艦船の爆沈事件などを口実にスペインと開戦した。
- B この戦争で、アメリカへのプエルトリコの割譲が決定した。
- C この戦争で、キューバの独立が決定した。
- D この戦争で、アメリカはパナマ運河の租借権を獲得し、パナマ運河建設を開始した。

問 9 下線部(ク)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(41)の記号にマークしなさい。

- A アルゼンチンでは、ペロン大統領が反米的な民族主義をかかげて社会改革を実施した。
- B 1951年には、グアテマラで左翼政権が成立して土地改革に着手したが、その後軍部のクーデターで失敗した。
- C 1952年にボリビアで左翼政権が誕生し、スズ鉱山を国有化した。
- D 1959年にキューバで独裁政権が倒され、バティスタが首相に就任した。

問10 下線部(ケ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(42)の記号にマークしなさい。

- A ソ連がキューバ内にミサイル基地建設を図ったことが直接の原因であった。
- B アメリカのアイゼンハウアー大統領とソ連のフルシチョフ共産党第一書記との間の直接交渉で危機打開が図られた。
- C 最終的には、ソ連がミサイルを撤去することで危機は回避された。
- D キューバ危機の反省から、米ソ間で直通通信(ホットライン)協定が締結された。